

令和5年度 東京都北区立としま若葉小学校経営計画

北区立としま若葉小学校 校長 堀之内真理子

1 目指す学校

平成14年、豊島東小と豊島西小の統合により、「としま若葉小学校」が誕生し、本年度、創立21年目を迎える。開校時、平成14年の児童数は292名（10学級）であり、そのほとんどが豊島5丁目団地に住んでいた。その後、学区域に集合住宅が建ったり、豊島5丁目団地に小学生がいる家庭の転入が増えたりしたことから、平成23年より、児童数が増加している。今年度は、全学年2学級、合計12学級、児童数380名でのスタートとなった。加えて、諸外国から日本語を話すことが困難な児童の入学、編入が年々増加している。日本語指導加配を生かした組織的な指導を実施し、日本語の習得につなげていく必要がある。

(1) 本校の学校目標

- 思いやる子：相手の立場や意見を尊重し、友達を大切にする子
- 考える子：すすんで学び、自ら調べたり、友達と話し合ったりしながら課題を解決する子
- がんばる子：困難にくじけず、あきらめずに最後までやり遂げる子
- すこやかな子：すすんで登校し、よく学び、よく働き、よく遊び、心も体も元気な子

(2) めざす学校像

- 「笑顔あふれるとしま若葉」
- 一人一人の子どもの達成感、自己肯定感を高められる学校
- 教職員が認め合い、力を発揮する学校
- 家庭や地域住民と連携・協働する学校

(3) 学校力を高めるための経営改革

- 教職員の意識改革：教育のプロとしての使命感をもち、危機管理能力を追求する。
- 組織改革：協働的かつ柔軟に対応できる組織体制を構築するとともに学校のレジリエンスを強化する。
- 働き方改革：効率的・組織的・実働的に校務に取り組む。育児・介護等と仕事との両立支援を推進する。

2 中期的目標と方策

(1) 中期的目標

① 確かな学力の育成

・基礎・基本を重視した指導の工夫・改善を図り、基礎学力の定着と思考力、判断力、表現力等の向上をめざす。

② 豊かな心の育成

・基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生命を尊重し、互いのよさを認め合える心、判断力、公共心を育む。

③ 健やかな体の育成

- ・心身ともに健康でたくましい児童を育てる。
- ・学校2020レガシー「困難を乗り越え、最後まであきらめない心を養う」を涵養する。

④ 特色ある教育活動の推進

・本校独自の行事・集会等を計画的に実施するとともに、地域や他校・園との連携を図りながら、安全・安心で社会に開かれた学校を実現する。

⑤ 働き方改革の推進

・効率的・組織的・実働的に仕事を進め、限られた勤務時間を最大限に活用して確実に成果を上げる。育児・介護等と仕事との両立を支援する体制を整え、男女ともに働きやすい職場環境をつくる。

(2) 中期的目標達成のための方策

① 確かな学力の育成

- ・校内研究を推進し、児童一人一人が「できる」「わかる」授業づくりをめざして、教員の授業力の向上を図るとともに、授業規律を徹底する。
- ・算数科を中心に少人数指導を展開する。
- ・「きたコン」をはじめ、ICTの活用や問題解決的な学習の展開を通して、個に応じた指導の充実を図る。
- ・東京ベーシックドリルの取組や家庭学習の積み重ね等を通して、漢字や計算の確実な習得を目指し、基礎学力の定着と向上を図る。

② 豊かな心の育成

- ・道徳授業の工夫・改善を行い、思いやりの心、社会性や規範意識を育成する。
- ・児童理解を深め、全校体制による組織的な生活指導を徹底する。
- ・特別支援教育の充実を図るため、校内委員会をより活性化させる。

③ 健やかな体の育成

- ・体育科学習の充実と改善を図るとともに、体育的活動や休み時間の遊びや運動の質的・量的向上を図る。
- ・保健指導、食育に力を入れて取り組むとともに、学校保健委員会の充実を図る。

④ 特色ある特色ある教育活動の推進

- ・金管クラブを発足し、活動の充実を図る。
- ・朝の読書、読み聞かせを充実させ、読書への興味・関心を高める。
- ・様々な場面を想定した避難訓練・安全指導の徹底・充実を通して、危機意識の高揚を図る。
- ・隣接保育園やS F中学校、小学校の交流を計画的・継続的に行い、連携を深める。

⑤ 働き方改革の推進

・優先順位の下、ライフ・ワーク・バランスの実現及びキャリア形成の促進と自己実現につなげる。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

① 確かな学力の育成

- ・児童一人一人が「できる」「わかる」と実感しながら学び、自己肯定感や達成感を高められるよう、研究授業（年3回以上）や授業力向上研修等（月1回以上）等、授業力向上のための取組を全教職員で行う。
- ・週ごとの指導計画を充実させるとともに、一人年3回以上の授業公開等を通して、授業力を高める。
- ・算数少人数習熟度別学習担当（3～6年）、学力格差解消担当（2～4年）を配置し、確かな学力を育む。
- ・東京ベーシックドリルの定期的な活用及び周1回のベーシックタイム（毎週木曜日 15分間）の実施により、基礎学力の補充・定着を図る。診断シートに年3回取り組み、平均正答率75パーセントをめざす。
- ・日本語指導が必要な児童に対しては、日本語に慣れ親しませるために、日本語指導教員が中心となって計画的に寄り添った指導を進め、早期の日本語の習得をめざす。
- ・「きたコン」の活用を通し、個別最適な学びと協働的な学びを実現させ、児童の興味・関心を高める授業を推進する。

② 豊かな心の育成

- ・基本的な生活習慣（あいさつ・あつまり・あとしまつ）のさらなる定着を図る。
- ・道徳教育を重視し、全教育活動を通して思いやりの心、社会性や規範意識を育てる。『いじめ解決100%』に向け、指導の充実を図る。年3回のふれあい月間を活用し、いじめの未然防止、早期発見に取り組む。
- ・芸術・文化に関する教育活動の充実を図り、感動や喜びを味わう機会を増やし、豊かな感性を涵養する。
- ・特別な支援を要する児童への校内体制の整備と関係機関との連携を深める。

③ 健やかな体の育成

- ・体育科学習及び体育的活動（体育学習発表会、持久走記録会、短なわチャレンジ、長なわチャレンジ等）の充実を図り、体力向上を推進する。
- ・休み時間の全員校庭遊びを励行し、運動に親しむ態度と運動習慣を醸成する。
- ・朝ご飯の励行、食事マナー等、食育の推進とともに保健指導の充実を図り、健康な生活習慣を形成する。

④ 特色ある教育活動の推進

- ・金管クラブの活動の充実を図り、学校・地域行事への積極的な参加を推進する。
- ・朝読書や読み聞かせの推進を図り、読書習慣を身に付けるとともに豊かな情操を育む。
- ・異校種間の授業や行事の交流等を通し、小中一貫教育の推進・幼保小連携の協力体制の構築を図る。

⑤ 働き方改革の推進

- ・校務は優先順位の下、効率的・計画的に取り組む。育児・介護等を含め、働きやすい職場環境を整える。

(2) 重点目標と方策

◇ 基礎学力の定着

- ・教職員が互いに授業を参観し合い（年3回以上）、高め合うことのできる仕組みを整え、授業力を高める。
- ・特に算数科に重点化し、東京ベーシックドリルに全校で計画的に取り組む。診断シートの完全習得に向け、各学年で習得すべき学習内容を確実に身に付けさせる。
- ・学力フォローアップ教室を週1回1時間実施し（3～6年対象）、参加児童のベーシックドリル診断シート結果の年度末15ポイントアップをめざす。さらに、家庭学習を充実させ、基礎学力の定着と補充を図る。

◇ 基本的な生活習慣の定着・美しさを尊び、感性を養う教育の推進

- ・「あいさつ・あつまり・あとしまつ」に全校体制で取り組む。全校朝会・道徳授業・児童会活動等、様々な場面を通して、意義を伝え、実践させる。学校だよりや保護者会等で家庭にも呼びかけ、協力を促す。
- ・いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に全教員で断固として取り組み、いじめの根絶に努める。
- ・特別支援コーディネーターを中心に毎月の校内委員会の活性化を図り、SC・担任・巡回指導教室教員・特別支援教室専門員・保護者・関係機関との連携を強化し、支援体制を強化する。
- ・音楽・図画工作をはじめ、表現活動の充実を図る。美しさや感動を味わうことを通じて豊かな感性を育む。

◇ 体力向上・健康教育の推進

- ・体力テストの結果を生かし、体育科学習や体育的活動において数値目標を設定して活動する等、重点的に体力づくりに取り組み、児童の体力向上を図る。
- ・保健指導・食育の充実等を通して児童の健康増進を図る。保護者・地域の協力も得ながら全校共通理解の下、健康教育を推進する。（ホームページ等で保健指導や食育等について月1回以上掲載し、周知する）

◇ 学校ファミリーによる小中一貫教育と地域との連携の推進

- ・サブファミリーの研究において、10月に授業提案を本校で行う。明桜中サブファミリー校の教員を招いたり、他校の研究授業、研究発表会を参観したりして、小中一貫教育の意識の向上と実践に取り組む。
- ・金管クラブの地域行事等への積極的な参加を促し、演奏技能の向上を図るとともに、地域への貢献を通して郷土愛を育てる。
- ・毎月の避難訓練・安全点検、安全指導、防災教育等を推進し、安全・安心な学校づくりを行う。

◇ 働き方改革の推進

- ・校務分掌は、協働的チームで裁量権とやりがいをもって仕事を進める。
- ・生活指導・保護者対応・学習指導（3年生からの教科担任制）等、日常的な複数での指導体制を確立し、働き方改革に生かす。加えて男性職員の育業等の推進等、男女ともに働きやすい職場環境づくりをめざす。
- ・北区の学校閉庁日と学校閉庁日を合わせ、8月に連続13日の閉庁日を設け、リフレッシュにつなげる。
- ・最終退勤時刻（20時）、毎週水曜日の定時退勤日、年休取得推進プラン70%を設け、周知と遵守を図る。

